

林野庁主催の「森林×脱炭素チャレンジ 2023」で優秀賞を初受賞 ～「JTの森」におけるCO2吸収量、森林整備の取り組みを評価～

JTは、林野庁が主催する「森林×脱炭素チャレンジ 2023」の「森林づくり部門」において、優秀賞（林野庁長官賞）を初受賞しました。「森林×脱炭素チャレンジ」は、森林づくり活動等を通じて、脱炭素社会の実現に貢献している企業等の取り組みを顕彰する、林野庁が2022年に創設した制度です。

このたびの受賞では、「JTの森」における、総合的な取り組み、令和3年度及び令和4年度の間に取り組んだ森林整備、そして年間CO2吸収量（413t）が脱炭素に貢献したとして高い評価をいただきました。



<JTの森>

「JTの森」は、JTが「Rethink PROJECT」の一環として、パートナーシップを基盤に地域社会に根差して取り組んでいる活動です。「JTの森」は全国9か所にて展開しており、自治体、森林組合等との連携、従業員ボランティア参加型の森林保全活動を通じた地域コミュニティとの交流を特徴としています。

- JTの森公式ページ

https://www.jti.co.jp/sustainability/community_investment/forest/index.html

<「JTの森」に関する主な取り組み>

- 協定地における森林整備の支援
 - 各都道府県が有する「企業の森制度」を活用し、自治体等と森林保全協定を締結し、森林整備費の一部を支援 ※除く社有林
- 「森づくりの日」の開催
 - 自治体や森林組合をはじめとする地域の方々と連携し、従業員ボランティア参加型の森林保全イベントを各地で開催し、森林整備や木工教室等を実施
- 間伐材活用の推進
 - 「JTの森」の間伐材を用いた家具やグッズ等を製作

JTグループは、たばこ、医薬、加工食品を中心とした各事業で、葉たばこや紙、野菜等、植物を中心とした自然由来の原材料を使用しています。私たちの事業を支えてくれる自然の恵みに感謝し、これからも自然環境を大切にしていきたいという思いから、全国9か所にある「JTの森」において森林保全活動に取り組んでいます。

今後も、健全で豊かな自然環境が将来の世代に引き継がれるよう、より良い環境の創造に向けて積極的な取り組みを進めてまいります。

～参考～

<森林×脱炭素チャレンジ 2023>

- 概要
 - 林野庁が 2022 年より主催する、森林づくり活動等を通じて、脱炭素社会の実現に貢献している企業等の取り組みやその価値を、多くの人々に知ってもらい、企業等の更なるチャレンジを後押しするための顕彰制度 (<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kikaku/230801.html>)
- 受賞内訳
 - 応募総数 65 件（森林づくり部門50 件、J-クレジット部門15 件）のうち 13 件の受賞
 - ◇ グランプリ 1 件
 - ◇ 優秀賞（林野庁長官賞）12 件：森林づくり部門9 件、J-クレジット部門3 件
 - ※ JT の森は、森林づくり部門で優秀賞を受賞
- グリーンパートナー2023
 - 応募した企業は森林整備を通じて脱炭素に貢献する「グリーンパートナー2023」として林野庁 HP において応募者名および CO2 吸収量を公表



<Rethink PROJECT>

「Rethink PROJECT（リシンク・プロジェクト）」は、JT がパートナーの皆さまとともに行う地域社会への貢献活動の総称です。私たちは、心みたされるよりよい明日の実現に向けて、Rethink をキーワードにこれまでにない視点や考え方を活かしながら、地域社会の様々な課題に向き合っています。



- Rethink PROJECT 公式ページ
<https://www.rethink-pjt.jp/>